（余白）

緊急時の連絡先

車の故障・レッカー移動

●JAFロードサービス救援コール
0570-00-8139
又は#8139（短縮ダイヤル）

車の事故、人命救助の要請など

●警察　110
●消防　119

道路情報

●日本道路交通情報センター
050-3369-6601
又は#8011（短縮ダイヤル）

memo

日常から暴風雪に備える

◆家の常備品
- □ ポータブルストーブ及び灯油
- □ 懐中電灯
- □ 携帯ラジオ
- □ 防寒具
- □ 非常食
- □ 飲料水

◆車の常備品
- □ 防寒着・長靴・手袋
- □ スコップ
- □ けん引ロープ
- □ 十分な燃料
- □ 飲料水
- □ ブースターケーブル
- □ スノーヘルパー
- □ 毛布
- □ スノーブラシ

歩行中や屋外で作業中のとき

視界不良（ホワイトアウト）により方向感覚がなくなり、自分の位置が分からなくなることがあるので・・・

❗ 近くの商店・コンビニ、人家等、建物の中の安全な場所へ

❗ 肌の露出を少なくし、体温の低下を防ぐ!

❗ 歩行中は飛散物に注意!

車内で救助を待つとき

排気力ゴによる中毒や低体温症に十分注意が必要なので・・・

❗ 原則エンジン停止

一酸化炭素中毒の危険をなくすにはエンジンを切ることが大切です。防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。

❗ 一酸化炭素中毒の危険性

車が雪に埋もれたときにエンジンを作り続ける排気力ゴによる一酸化炭素中毒の危険性が生じます。埋もれる深さが深いほど危険です。

❗ エンジンをかけるときは

防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、迫加の除雪やゆきだまりによる再埋没に注意しましょう。

❗ 窓を開けていても絶対安全とは言えません

風向や窓の開度などの条件によっては、窓を開けていても閉めているときの一酸化炭素中毒の危険性が高くなることもあります。

車を運転しているとき

視界不良のまま運転を続けるのは大変危険なので・・・

❗ 道の駅、コンビニなどで天気の回復を待つ

❗ 気象情報や道路情報を確認する

❗ 気温が低く風が強いとき

気温が低く風が強いと、雪面の雪が目の高さ以上に吹き上げられるようになり、これを高い地吹雪と呼びます。

高い地吹雪では、乗用車の目線の高さ1.2mを越えて雪が舞うようになるので、ドライバーの視界を奪い、厳しい視程障害を及ぼす場合があります。

車が立ち往生したとき

途中で立往生をしてしまったときは、後続車から進突されないように…

❗ ハザードランプを点滅、停止表示板を置く

❗ JAF等のロードサービス、近くの人家、警察・消防に救助を依頼

❗ 吹きだまりのとき

道路の吹きだまりが深くなると、車の走行が困難になることがあります。

道路の吹きだまりの深さが20cm程度でも前進できなくなることがあるので注意しましょう。

吹きだまりに注意し、無理のない運転を心がけましょう。

暴風雪による被害に遭わないために

暴風雪による被害は、晴天から悪天へと天気が急変した時に特に多く発生しています。

暴風雪が予想されている時は、無理をせずに外出は避けましょう。

悪天が予想されていることを知った時は、今の天気が良くても油断することなく、最新の気象情報や道路情報などを事前に十分確認しましょう。

気象情報
気象庁
http://www.jma.go.jp/

通行止情報
北海道地区道路情報
http://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/

道路情報総合案内
北の道ナビ
http://northern-road.jp/navi/

防災情報
北海道防災情報
http://www.bousai-hokkaido.jp/

❗ 気象台から「数年に一度の猛吹雪」「外出は控えてください」のキーワードを使った情報が発表されたら、厳重に警戒を!

企画制作
北海道開発局・札幌管区気象台
北　海　道・寒地土木研究所

（余白）

おりせん　おりせん　側面表　おりせん　おりせん　側面裏

きりとりせん　きりとりせん